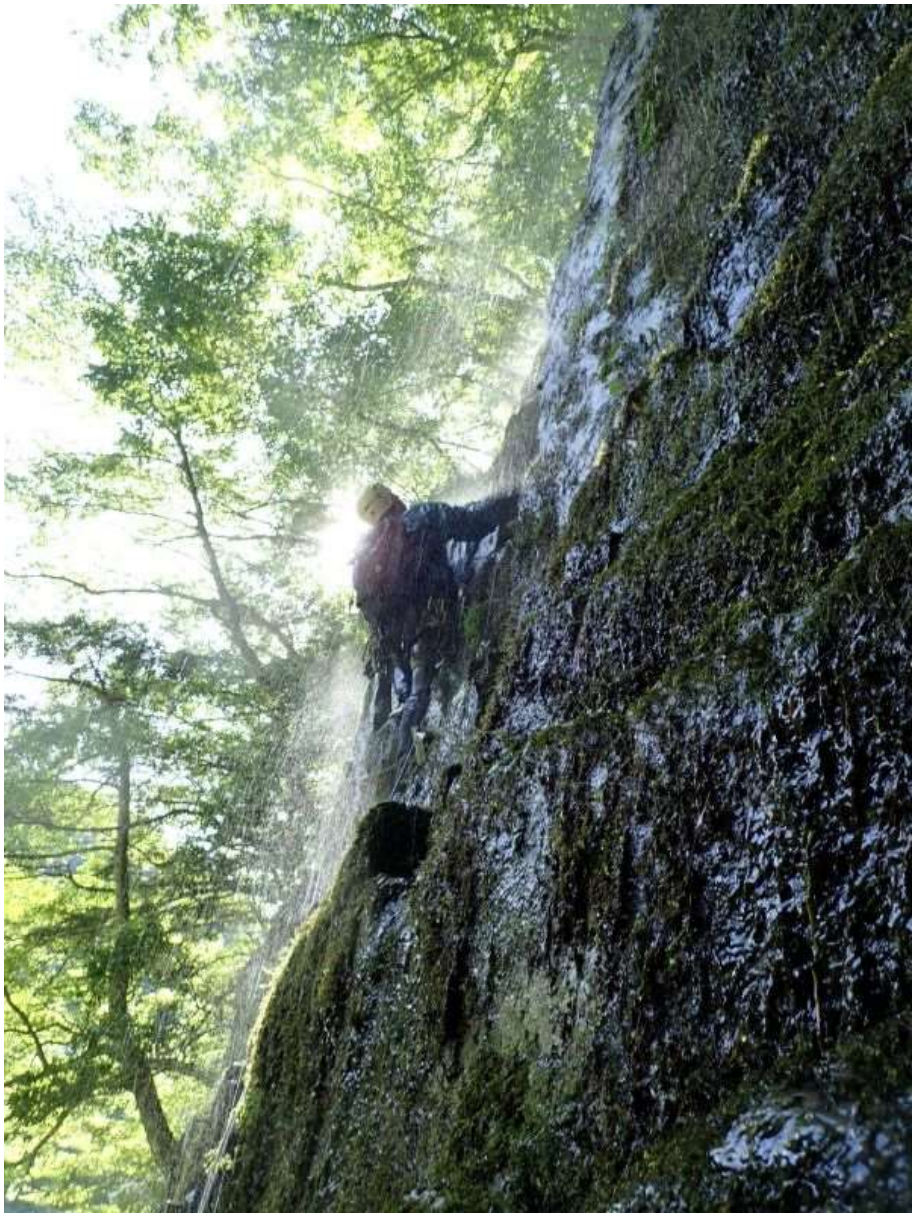
連盟ニュース 神奈川　１０月

No.513



「西丹沢本棚　本棚滝登り１本勝負」　（アルパインクラブ横浜　宍道・藤田）

事故一報」の送付先をお知らせします。

＊「事故一報」の全国・県連へ迅速な連絡＊

全国窓口：労山基金制度運営委員会メール kikin@jwaf.jp/FAX03-3235-4324

県連窓口：遭難対策部メール及び基金申請書は、ホームページの連盟員のページから

神奈川県勤労者山岳連盟
〒221-0045　横浜市神奈川区神奈川２－１４－６　トーリクビル３階
http：//www.k-rouzan.net/

発行責任者　早川尚武
発行年月日　２０２３年１０月１５日

１０月号（Ｎｏ．５１３）　目　　次

「第４回 丹沢の山小屋に泊まろう！」参加者募集 ―――― ２
神奈川県連教育部　実技読図講習会のご案内 ―――― ３
関東ブロック自然保護委員会ｉｎ神奈川 ―――― ４
東日本大震災復興ボランティア募集 ―――― ６
２０２３年労山関東ブロック役員交流会報告 ―――― ６
８月　自然保護委員会報告 ―――― ９
９月　自然保護委員会報告 ―――― １０
第３８期下期（前半期）定期理事会議事録 ―――― １１
事務局長会議議事録 ―――― １７
常任理事会議事録 ―――― １８
各会の活動報告 ―――― １９
県連のスケジュール ―――― ２３

「第４回 丹沢の山小屋に泊まろう！」参加者募集について

１２月１６日（土）～１７日（日）札掛にある丹沢ホームに泊まり、丹沢自然保護協会理事長　中村道也氏より現在の丹沢についてお話を伺う企画を立てました。

丹沢小屋支援活動としての取り組みでもあり、皆さんの参加をお願いいたします。

詳細は下記の通りです。

１．日 時：１２月１６日（土）～１７日（日）
２．集 合：１２月１６日（土）８時５０分 秦野駅ヤビツ峠行バス停
３．スケジュール
１２月１６日（土）
秦野駅ヤビツ峠行バス停９：04―9：52 ヤビツ峠 10：00―イタツミ尾根―12：00 大山山頂 12：20―大山北尾根―14：20 新多摩線 16 号鉄塔―15：20 地獄沢橋―16：00 丹沢ホーム＊夕食後懇談
１２月17日（日）
丹沢ホーム８：00―長尾尾根―12：00 新大日 12：30―政次郎尾根―14：30 戸沢山荘―16：00 大倉
4．費 用：丹沢ホーム１泊２食 ７，５００円
5．定 員：２０名
丹沢ホーム直行、直帰可能です（ヤビツ峠バス停送迎あり）申込時にお知らせ下さい。
6．申込先：
下記 e-mail address 宛に申し込みをお願いいたします。
bosyuu_sizen@k-rouzan.net 自然保護委員会 萩原宛
7．締め切り：１０月２９日（日）

神奈川県勤労者山岳連盟教育部　実技読図講習会のご案内

令和５年９月１３日
神奈川県勤労者山岳連盟
教育部　早川　尚武

１．対象者

去る７月に机上読図講習会を２回開催しましたが、今回はいよいよ読図の実技編です。地形図に指定したルートに沿って、地形図と現地の地形を注意深く見ながら班ごとに歩いてもらいます。登山/ハイキングを始めたばかりの人だけでなく、バリエーションルート山行にも行くが読図を苦手としている人も対象とします。

２．開催日時と場所

2023 年 10 月 29 日（日）に、中央線梁川駅より南部の倉岳山
集合場所は中央線梁川駅。時間、計画書、その他関係資料は、参加者宛に別途電子メールにてご連絡します。

３．講習内容

道迷いをしないようにするには、

昨年は梁川駅より北、今年は南だ♪　/出典:Wikipedia

班ごとに分かれて地形図と現地の情報を正しく認知してナビゲーションし、指定されたルートを辿ってもらいます。
①準備段階として、地形図上のルートから要注意ポイント等を記入する。
②現地の地形と地形図を照らし合わせ、現在地を同定する。
③実際の読図山行における注意点（尾根と支尾根、傾斜角度、手掛かりポイントなど）を身に付けます。
④同定した現在地より、次のポイントに向けての進行方向を地図とコンパスから定めます。

４．募集要項

①講習参加費は無料です。
②募集定員は 20 名。先着順とします。定員に達し次第締切とします。

５．申し込み連絡先

別紙申込書に必要事項を記載の上、下記アドレス宛に送信して下さい。
質疑事項がありましたら、同じく下記アドレス宛に送信して下さい。
bosyuu002@k-rouzan.net

以上

2023 年　関東ブロック自然保護集会　in　神奈川

主催　日本勤労者山岳連盟関東ブロック

主管　神奈川県勤労者山岳連盟

地球温暖化を止めよう。
自然を守る活動から学び、行動の糧にしよう。
神奈川へお越しください。

●日時　２０２３年１１月１８日(土)～１９日(日)

●会場　横浜自然観察の森　上郷森の家(横浜市公共の宿)

横浜市栄区上郷町 1499-1　045-895-2211

●内容

11 月 18 日(土)

9:00　瀬上沢事前観察会　JR 京浜東北根岸線　港南台駅南口集合

13:30　受付開始

14:00　開会

講演「瀬上沢―横浜南部最大の緑地を開発から守った」

角田東一氏（NPO 法人　蛍のふるさと瀬上沢基金　理事長）

16:00～18:00　各県連盟の活動報告

群馬県連、栃木県連、埼玉県連、東京都連盟、千葉県連、神奈川県連

18:30　夕食･交流会

11 月 19 日(日)　**鎌倉までのハイキング**

(当日参加者)　集合　横浜自然観察の森　自然観察センター　9:30

(宿泊者)　上郷森の家出発(9:00)　→　自然観察センター　→　天園

→　瑞泉寺　→　鎌倉宮　→　鶴岡八幡宮

→　鎌倉駅　13:00 頃解散

●参加要項

①参加費　宿泊者　1 万円　講演会のみ　資料代 500 円

②締め切り　10 月 21 日(土)

③申込・問合せ先

関根さち子　bosyuu_sizen@k-rouzan.net

●会場までのアクセス　　会場　上郷森の家で検索／バス停は、森の家前

●参加申込書

＿＿＿＿＿＿＿＿県連盟

■参加者代表

名　　前	連絡先電話・携帯	e-mail

■参加名簿

No.	名　　前	住　　所	11/18				11/19
			観察会	集会	交流会	宿泊	鎌倉ハイク
1							
2							
3							
4							
5							

2023年11月東日本大震災復興支援ボランティア募集

東日本大震災から１２年被災地復興支援のボランティアを募集します。

１．日　　時　　２０２３年１１月１１日（土）～１３日（月）
２．活動場所　　宮城県石巻市
３．活動予定
　１１日（土）ＪＲ横浜線十日市場駅　７時３０分集合→石巻市水沼東部構造改善センター着
　　水沼到着後　夜　地元の労山と交流会、センター泊
　１２日（日）午前　石巻市上品山にて、つつじの撫育・植樹作業
　　午後　福島県南相馬市に移動≪宿泊先　民宿　森のふるさと≫
　１３日（月）福島第一原発周辺視察　→　帰路
４．交　　通　　自家用車で移動
５．参加費用　　交通費・宿泊費用（約１６，０００円）
６．連絡先および申込期日　連絡先　自然保護委員会　渡辺三男 090-2422-6644　申込期日１０月３０日（月）

２０２３年労山関東ブロック役員交流会報告

記録：安彦秀夫（千葉県連：東葛山の会）

日　時：２０２３年9月２日（土）１０：００～１９：００（受付９：３０開始）
場　所：日本勤労者山岳連盟事務所１階会議室
主　催：千葉県勤労者山岳連盟
参加者：埼玉３名、神奈川３名、栃木１名、群馬３名、茨城２名、東京３名
　　千葉７名（廣木、野田、具志堅、菅井、小林、田中、安彦）、山梨０（２２名）
式次第：①開会宣言・スケジュール説明（千葉県連 野田理事長）
　　②主催者挨拶（千葉県連 廣木会長）
　　③各連盟からの報告・質疑応答
　　④意見交換・課題討議（組織強化、全国連・関東ブロックへの要望等）
　　⑤まとめ、写真撮影、交流会
　　⑥閉会挨拶（野田理事長）

千葉県連の野田理事長より「開会宣言」と「本日のスケジュール説明」があり、続いて千葉県連の廣木会長より「主催者挨拶」がありました。参加者各自からの自己紹介（氏名、地方連盟、役職など）後に、事前に提出された報告書（資料）をスクリーン（実際は事務所壁）に投影して、報告が昼休みを挟んで７地方連盟から行われました。

★各地方連盟からの報告（１０：１５～１４：３０・報告順）

＜1＞　埼玉県連（瀬下理事長）

①海外登山実施（４月～５月）　インドヒマラヤ：ガンゴトリ山群に登山隊とトレッキング隊を派遣

②登山祭典実施予定（１０月２１日（土）～２２日（日））

長瀞荘にて。ハイキング（８コース）、セルフレスキュー講習会、ＢＢＱ交流会。

山本宏之氏（全国連盟理事）講演会などを実施予定＜各連盟から１名招待＞

③冊子『埼玉の山旅おすすめルート』を編集中（２０２４年３月発刊予定）

④遭難防止・安全教育の一環として『セルフレスキュー研究会』を設立

⑤各会 HP リンクの『名刺大チラシ（ＱＲコード付き）』の作成・配布

⑥『労山リーフレット』を県連盟として依頼

⑦全国連盟や関東ブロックで、若い会員が交流できる魅力的な機会を増やして…！

＜2＞　神奈川県連（渡辺会長）

①読図、気象基礎、クライミング、ファーストエイド・セルフレスキューなどの講習会実施（救命訓練講習用にＣＰＲ：訓練用ダミー人形を購入）

②丹沢クリーンハイク、石巻ボランティア活動、山小屋に泊まろう活動、自然観察・里山散策の実施

③バードウォッチングの実施（日本野鳥の会の講師指導で毎月開催）

＜3＞　栃木県連（八木澤理事長）

①市民向け公開ハイクの実施（２０２２年１１月３日）

②『栃木の山グレーディング』策定に関与

③新聞記事などから「ヒヤリハット事例」の収集と周知の徹底

④安全登山講演会実施（講師：花谷泰弘氏）、

救助技術交流会実施（鹿沼岩山・古賀志山）ハイキングセミナー実施（4 回）

⑤足尾の植樹や那須クリーンキャンペーンに参加、クリーンハイク実施

⑥栃木県と協定し、日光山域の登山道整備や避難小屋の維持管理

＜4＞　群馬県連（岩崎教育部長）

①ロープワーク講習会、尾瀬自然勉強会、谷川岳クリーンハイク、山の日イベント、セルフレスキュー講習会、ぐんま県民ハイクなどの実施

②新会員に対してＬＩＮＥでのフォローや希望山行の企画、労山加入の利点の啓蒙、

③会員募集の展開（公民館での行事・講習会開催、群馬県イベントでのチラシ配布、近郊の山での声掛けなど）

④講師派遣制度の利用（段取りが難しかったが講師の依頼ができた）

＜5＞　茨城県連（高橋理事長）

①会員拡大・維持に向けての活動の実施（繰越金有効利用：前回総会で決議）

・『ハイキングＡＢＣ最新版』の加盟全会員への配布

・クリーンハイク雨天中止に伴い、加盟全会に『デジタル計量器』を配布

・県連盟行事参加者への参加費補助（一人１回当たり 1,000～2,000 円）および行事開催山域の地形図無料配布

・スノーシュー無料貸し出しの実施（アイゼンやピッケルも検討中）・

②Ｚｏｏｍでの理事会や委員会を公開（会員誰でも参加できるように呼び掛け）

③『山登りを諦めない』をスローガンに『県連活動が面白い』の啓蒙活動展開および合同山行の実施

④加盟会への活動（特に教育）や事務処理（労山基金手続きなど）のバックアップ

⑤定期的に開催できる初心者岩登り講習用の適切な場所を探索中

⑥自然観察会や他地方連盟行事などへの参加呼びかけ、県連理事選出基準の見直し、講習会などでの講師手当支給などを検討中

＜6＞　東京都連（栗原事務局長）

①東日本大震災復興支援、遭難対策研究集会、東京登山学校、救助隊勉強会、クリーンハイク・自然観察会、三つ峠アツモリソウ保全活動等の実施
②地区連盟の役割の再確認と整理の実施（懇談会開催予定）
③一般登山者に労山を知って貰う方法を模索中（腕章着用、横断幕作成など）

＜7＞　千葉県連（野田理事長）

①県連所属会員の年齢構成の推移調査の実施とグラフ化（高年齢層増加傾向）
②房総ロングハイク、初級クライミング講習、磯根海岸クリーンハイク、ネパールトレッキング、オンライン講習会などの実施
③房総の山復興プロジェクトへの参加（台風被害の登山道などの復旧活動）
④会員拡大・組織強化・地域社会との連携などの具体策の検討・推進
⑤会・県連単独でできない技術講習などの継続的な支援を全国連や関ブロに期待
⑥事務連絡などをタイムリーに確実に実施することを全国連に期待

★意見交換・課題討議（１４：４５～１６：３０）

千葉県連の廣木会長より､『２０１３年～２０２２年の会員数・会数・会員平均年齢・退会理由などの推移データ』より、次のような報告・提案がされました。

廣木会長（千葉）からの報告・提案

多くの会では運営が厳しく会独自での会員獲得は厳しい状況で、上部[illegible]間組織（関東ブロックなど）も従来の交流主体から下部組織の力になる活動[illegible]関東ブロックで独自の方針を打ち出し取り組む必要がある。現状を見た場合、５年後はまあまあかも…、でも１０年後はどうなっているか大いに不安である。意見交換（討議）していただきたい。

これを受けて、各地方連盟からでた主な意見は次のようなものでした。

①なぜ会員拡大が必要か？
・年間活動運営の財源確保や安全登山啓蒙などを組織的に行うために必要である。
・会員獲得は組織強化につながる。危機感を持って拡大に取り組む必要がある。
・子供のころから山に親しむようにしたらよいのでは…（キャンプなど）。
・年齢が進むにつれ山に行くことが体力的に厳しくなり、山行計画書に対してアドバイスをしたり、保育園などの登山スタッフとして自然の説明をしている。

②以前は、労山基金はダントツに優位性があったが、最近は薄れてきているのでは？
・労山基金のメリットを明確にし、アピールする必要がある。
・お金以外でメリットを出す必要がある（安全登山講習会の開催など）。

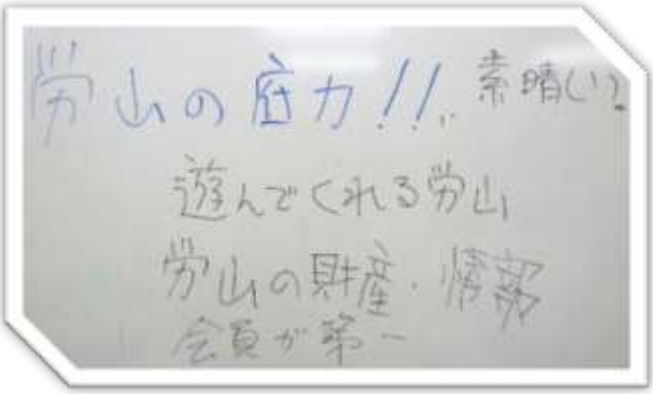
③「労山だからできること、労山しかできないこと」などの「労山の魅力」をＰＲする必要があるのでは…。労山の認知度をアップさせる必要があるのでは…。
・昔は、「仲間が欲しい」と入会してきたが、今はネットで繋がり飲み仲間もいるので敢えて山の会に入会する必要性を感じない…という若者が増えてきているようだ。しかし、登山技術の未熟さに気が付き、技術指導力のある会に入ってくる人が出てきているようだ。

④県外参加（地方連盟を越えた参加）の呼びかけ、地域社会とのつながり、一般向けの講習会開催などに積極的に取り組む必要があるのでは…。

★写真撮影・懇親会（１７：００－１９：００）

参加者全員が揃っての記念集合写真を撮り、自己紹介（一言発言）をしながら和気あいあいと情報交換をしました。その中で、**「労山の魅力とは一言で言うと何だろう…？」**ということになり、色々な意見が飛び交いました。

後ろ髪をひかれる思いで交流会が終了となり、片付けを済ませ１９：００に全国連盟事務所を後にしました。



参加者が思い思いに『労山の魅力』を書き込みました！

８月　自然保護委員会報告

日　時：８月２９日（火曜）１８時～２０時

出席者：渡辺（相模ＡＣ）、関根（みずなら山の会）、磯部・伊藤・北野（地平線の会）

萩原（藤沢山の会）、河合（川崎ハイク）、中村（やま＋＋）　（敬称略）

■クリーンハイクの感想文集作成について

（１）編集について

①グラフに３～4つコメントを入れる。

②水質検査

・データ資料は入手済み。

・文章を完成させる。

③裏表紙は昨年と同じ、とする。

（２）スケジュール－８月末完成を目標

■理事会（９月１０日）資料準備

最終版を急ぐ。

■関東ブロック自然保護委員会

（１）実施日は１１月１８日（土）・１９日（日）

（２）講演会。蛍のふるさと瀬上沢資金理事長　角田氏には依頼済み。

（３）参加料―以下の通りとする。

①宿泊者　１万円

②日帰り参加者　500円

（４）スケジュール

１１月１８日（土曜）

０９：３０ 港南台駅集合

１０：００－１３：００ 観察会・お弁当は持参

１４：００ 受付

１４：３０ 開会

①角田さんの講演

②各県連盟からの活動レポート　２０分／県

１１月１９日（日曜）

ハイキング（自然観察センター～鎌倉）

＜参考＞昨年の参加者　藤沢山の会　１０名＋α、やまぶき　６名

（５）準備

●パソコン　１台（誰が個人パソコン持参）、プロジェクター、スクリーン、延長コード－会場で借りる

●ハイキング（市民の森～鎌倉）の下見を実施する。（日程別途）

■山小屋に泊まろう－以下の通り決定。

（１）日程：１２月１６日、１７日

（２）場所：丹沢ホーム

■里山を歩こう

中村から坂爪さんにコンタクトし、案内可能な場所を確認する。（後日実施したところ、日程は１月２０日、場所は武蔵五日市周辺）

■その他

◆次回の自然保護委員会は９月２５日（月曜）１８時～２０時

自然保護委員　中村　潤一

９月　自然保護委員会報告

日　時：９月２５日（月曜）１８時～２０時

出席者：渡辺（相模ＡＣ）、関根（みずなら山の会）、磯部・伊藤・北野（地平線の会）萩原（藤沢山の会）、河合（川崎ハイク）、中村（やま＋＋・Ｚｏｏｍ参加）　（敬称略）

■クリーンハイクの感想文集作成について

(1)印刷・配布

＊プリントアウトしたものを配布。目標：１０月一杯。

―各山の会の事務局長あてに１部ずつ配布する方向で進める。

―関東ブロック県連、全国連盟、神奈川県環境保全センターに各１部

クリーンハイク一般参加者、印刷希望の会（必要部数）

■理事会（9月10日）で議論・報告・決定された概要を関根さんから説明。

■関東ブロック自然保護集会

【都市から、山から、足元の自然を守る活動を交流しあおう】

（１）実施日は11月18日（土）、19日（日）

（２）講演会・・・『瀬上沢―横浜南部最大の緑地を開発から守った』。ＮＰＯ法人蛍のふるさと瀬上沢基金　理事長　角田東一氏には依頼済み。

（３）参加料―以下の通りとする。

①宿泊者１万円

②日帰り参加者・講演会のみ資料代５００円

（４）スケジュール（時間を若干変更。）

１１月１８日（土曜）

０９：００ 港南台駅集合（観察会参加者による瀬上沢自然観察会）

０９：３０－１２：３０ 観察会　お弁当は持参

１３：３０　会場受付

１４：００　開会

・角田東一氏の講演

・各県連盟からの活動レポート　２０分／県　（事前にテーマを聞く）

その他

・東北大震災復興支援の報告

１１月１９日（日曜）

０８：４５　森の家集合

０９：００　ハイキング開始

森の家出発～自然観察センター～天国～瑞泉寺～鎌倉宮～鶴岡八幡宮～鎌倉駅１３：００頃解散

（５）準備

パソコン　１台（誰か個人パソコン持参）、プロジェクター、スクリーン、延長コード―会場で借りる

（６）下見予定　１０月１４日（土曜）　０９：００港南台駅集合、弁当持参

・観察会ルート確認、会場の設備確認

・ハイキング（森の家～鎌倉）の下見

（７）各県連への参加要請

・現在まで群馬県連、埼玉県連から参加予定の連絡あり。もう一度、各県連にメールで参加を要請する。

（８）参加募集〆切・・・１０月２６日

■山小屋に泊まろう―以下の通り決定。

日程：１２月１６日、１７日

場所：丹沢ホーム

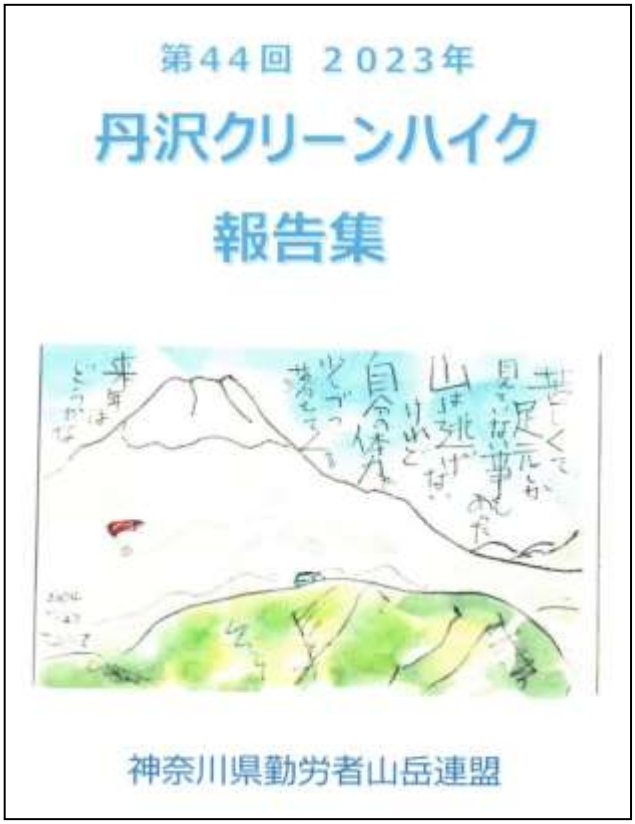
丹沢自然保護協会理事長　中村道也氏より現在の丹沢についてお話あり。丹沢小屋支援活動としての取り組みでもあり、皆さんの参加をお願い致します。

■里山を歩こう

（１）日程：１月２０日（予備：１月２７日）

（２）場所：　武蔵五日市周辺

（３）ガイド：　坂爪さん参加予定。



■２０２３年秋の植樹
　１０月２８日（土曜）開催予定。ヤビツ峠０９：３０集合。１５名の方より参加の応募がありました。参加費１０００円（植樹用苗木代他）は自然保護委員会で負担

■東日本大震災支援活動石巻ボランティア案内
日程：１１月１１日～１３日
作業：石巻上品山植樹活動
１３日は福島南相馬現地視察予定

■その他
◆次回の自然保護委員会は１０月３０日（月曜）１８時～２０時（年内委員会開催予定・・・１１月２７日、１２月２５日）

自然保護委員　中村　潤一

第３８期下期（前半期）定期理事会議事録

日時：９月１０日（日）１０：００～１６：００
会場：神奈川勤労者山岳連盟事務所　※ Ｗｅｂ（Ｚｏｏｍ）参加併用
参加者：
会議室　岩田新一（藤沢山の会　常任理事）、渡辺三男（相模ＡＣ　常任理事　会長）、早川尚武（相模ＡＣ　常任理事　理事長・救助隊隊長・教育部部長代行）、縄壮（藤沢山の会　常任理事）、関根さち子（みずなら山の会　常任理事）、山本晃（雪童山の会）、中村潤一（山＋＋）、佐藤修（川崎ＨＣ）、磯部津輝子（地平線の会）、萩原福子（藤沢山の会）、
ＺＯＯＭ　佐藤隆三（川崎 HC）、永宮祐子（川崎柴笛クラブ）、遠藤知恵子（川崎労山　オブザーバー参加）、土屋惇（カモの会）、丸山絵利（Grazie）、鍋野博章（AC 横浜）

１．定期理事会会長挨拶（渡辺）
　各会からご参加いただきありがとうございます。労山では、全国でも毎年５００人減っているという話を伺っています。このような中、会員拡大が急務ではないかと感じています。今日はどうぞよろしくお願いいたします。
２．議長団選出　　議長：関根　　拍手で決定　　書記：鍋野
３．資格審査　　理事２１名中、１２名　成立しました。（出席：９名ズーム３名、任状：０名）
４．理事長より議案書内容説明（早川）
　積極的な意見交換をいただき、県連の活動を活発化させたいと思います。どこの会も「高齢化」「次世代へ引き継ぎ」をどのように行うかが課題ではないかと思います。いかに組織を活用していくかについて話し合いたいと思います。今日はどうぞよろしくお願いいたします。
５．活動報告・活動予定の報告（事務部、教育部、救助隊、自然保護委員会、会計報告(※午後に報告)）
５．１　事務部（各担当より）
・事務局長会議（岩田）奇数月火曜。一定数の参加をいただいている。各会と県連がつながる重要な会だと認識している。
・連盟ニュース（佐藤）ここのところ投稿が少ない。写真、山行記録などよろしくお願いいたします。
・財政（丸山）・・・※担当の都合で 15 時以降に報告予定
・組織（佐藤）　会員の推移　過去５年間を記載しています。
・事故一報（山本）今年、かなり低減しているのはよいことだと思います。
・ヒヤリハット（谷内）
・システム、サーバー関係（入木田）去年、サーバーを「ロリポップ」に変更。ＺＯＯＭ、ＨＰ更新した（各自からの変更が可能になった）課題は、今後ログインパスワードを複数で共有・管理としたい。
・システム、ＭＬ関係（山本）９／４時点で全更新した。ご確認願いたい。（皆さんが把握できるようにするためリストを公開したいが、個人情報保護のため公開しないことになっている）
・新スポ（植田）
５．２教育部（早川より）

【活動報告】

・教育部部員は現在５名体制。「教育部にどのような活動をしてもらいたいか、各会からの要望を汲み上げること」を目的として「協議会」を立ち上げた。

・現時点までの活動として、「机上講習会」を実施。実技は行っていない。

・机上講習会は、同じ主題で月に２回とした。第１・第３火曜日の夜８時から開始し所要１．５時間とした。

・「安全登山：M&Ｃ久保氏（まずは基礎的な安全登山の話）」

「読図：ＡＣＹ神谷氏（昨年に引き続き開催。内容は少し切り口を変えて「自分の認知特性を把握して、地図をどの様に読み込んでいくか」とした）」

「気象講習」：野尻氏（気象予報士）登山者としての専門的な気象内容で有意義であった、８月１日に、夏・秋編で開催。２つの季節を１回で講習を行うには時間が不足。今期はあと１回の予定であったが、更に増やす方針で検討。

【活動予定】

・気象机上講習　次回　１１／７を予定

・１０／２９　読図実技　・・・記載なかったが追記願います。（人数は２０名を上限）

・参加費について・・・今まで２０００円。昨年はそこそこ集まった。しかし、多くの方に参加していただきたい。また、予算的に確保できそうなので「無料化」を考えたい。以前、鷹取での岩場でのセルフレスキュー講習会を無料で開催した際に、人数が多すぎて運営がうまくいかなかった。この反省から「有料化」としていた。しかし、最近参加人数が減ってきているので、当初の目的に戻して「無料化」を行いたい。ご意見をお聞かせください。

・交流会について・・・昨年好評だったため今年も行う（９／２３，２４）。

・１１月２５日（土）　ＣＰＲ及びＦＡ講習会 県連事務所にて・・・是非ご参加いただきたい

５．３救助隊（早川より）

【活動報告】

・第２木曜日に運営会開催し、毎月の活動を討議。そもそも救助隊の目的は、「公的な捜索活動がなくなってからの捜索」が上げられる。「遭難者が見つからず、行方不明となる場合がもっとも重い事案である」また、「危険事象発生時に、どうしたら自力で安全に帰ってこられる技術を身に着けるか」この技術を共有するために活動を行っている。

・訓練山行実施 ２月にアイスクライミング。ロープを使う山行で、コミュニケーションをどうとっていくのかという実践訓練である。

・雪崩捜索救助搬出訓練。３月１８日（土）実施。

・雪崩ビーコン捜索・・・ビーコンを見つけるところまでで終わっていることが多い。しかし、そこから要救助者を掘り出し、救出し、安全地帯への搬送まで継続して行う必要がある。実際はこのあたりがとても重要であると認識する。（ビーコンでの宝探しゲームで終わらせてはいけない）

・雪山訓練山行 タカマタギ登山。（教育部と合同訓練山行）３月１９日（日）実施。「今後、雪山山行初級中級などの講習会があってもいいのではないかなど声は上がる」

・７月１６・１７日 訓練山行沢登り。西丹沢玄倉川水系ザンザ洞遡行（グレードが高目の沢を選んだ）。7名参加。行動時間が長くなり、良い訓練となった。

・８月２７日沢登りにおけるセルフレスキュー講習会。（参加者７名。隊員８名）西丹沢　鬼石沢にて講習会を実施。昨年は沢での死亡事故が発生。また、全国的にも沢の事故は減らない。そのため、特に重要と考えて実施した。介助懸垂、斜張りによる引き下ろしを実施。（前日は、そのための事前準備）

【活動予定】

・１１月２７日（日）　岩場におけるセルフレスキュー 湘南鷹取山にて 日帰り（登り返し、介助懸垂、）

・２月１０～１２日 救助隊冬山訓練山行

・３月１６日 雪崩捜索救助搬出訓練 県連内公募

・３月１７日 雪山登山講習会 教育部合同 県連内公募 テント泊による。

５．４自然保護委員会（関根より）

【活動報告】

・自然保護委員会・・毎月１回最終月曜日

・クリーンハイク実行委員会

・全国自然保護担当者会議「長瀞」に参加 （６月１７日）

【活動予定】

・１１／１８　関東ブロック自然保護集会開催。１１／１９日集会のまとめ終了後に瀬上自然の森観察会～鎌倉までのハイキング

・１１／１１－１３　東北大震災石巻ボランティアについて　（交流、植樹、その他）今年も実施予定

・里山自然観察ハイキング・・・日程を早目に決めてお知らせしたいと思います。

・丹沢小屋泊・・・なるべく早く決めて皆さんへの参加呼び掛けをしたいと思います。

・１０／２８　丹沢の植樹活動に参加　　場所はヤビツ峠から菩提峠で、主に菩提峠付近

・１２／１７　コリドー（緑の回廊）を丹沢から、の呼び掛けに鹿などによる食害対策として行われる植樹に自然保護活動ともなるとして参加します。自然保護委員だけではなく一般会員の皆さんにも参加呼び掛けします。

・「出来れば全県連会員からのご意見や要望・希望を聞き入れて活動を広げたいと思っていますので各会から自然保護委員の参加をぜひよろしくお願いいたします。」

６．活動報告・活動予定に対する質疑応答

６．１質疑応答（事務部関係）

●連盟ニュースに対しての「投稿」について

早川：投稿が少なくなっているとありますが、これに対して何らかの場所で声掛けを行っているでしょうか。

佐藤：この場で発言している程度です。現状では、投稿が来るのを待っているという感じです

早川：事務局長会議などで、声掛けを行った方が良いということでしょうか？

岩田：この間の事務局長会議では、佐藤さんから原稿が少ないとあり、その際に話題にさせていただいた。「そもそも、写真と山行報告は各会からセットで交代に投稿する方針ではないのでしょうか？」との話あり、事務局長会議で再認識している。また、当番は有りつつも、追加投稿を自由に行うことはもちろん歓迎しています。

●「事故一報の流れ」の整理

山本：事故一報の流れは、現状で整理ができておらず、記載に多少のずれがあるのではないか？　「全国連盟への報告は、ＷＥＢ上から報告、県連宛には、メールで報告。そのメールアドレスの記載がずれている」など。

早川：２０１９年にまとめた。しかし、現状で乖離があるのは認識している。問題は「誰が」その整備を行うかであり、それを相談したい。

山本：そういうことであれば、私のほうで行いましょう。また、提案だが、「ヒヤリハット」などのデータは県連のＨＰで公開すれば良いのではないか。

早川：まず、「事故一報」関係の山本さんに資料をお送りいたしますので、整理をお願いします。また、ヒヤリハットは、公表できる方が望ましいと考える。この件を事務局のあたりで協議していただいて、進めることはできますでしょうか。

岩田：まず、技術的には可能です。また、個人情報保護などは注意が必要だと思います。

関根：では、この件は事務局で検討して、実施する方向で進めていただくこととしましょう。

早川：「ホームページへの各自からの掲載」は、救助隊の神谷氏しか行っていないということでしょうか？

入木田：現状はその通りです。投稿者は誰か決めていただければ、投稿できるように設定を行います。入木田まで連絡ください。設定をすれば更新が可能になるので、各部に周知願います

関根：周知して進めようと思います。（各部会の「定期的なお知らせなど」はデータＵＰの担当者をきめて、入木田さんに報告）

●「ＭＬについて」

早川：事務局関連のＭＬの整理がまだ整っていない。たとえば「県連ニュースの連絡先」は周知しきれていないのではないか？

山本：ＭＬリスト担当だが、詳細が把握できていない現状がある。不明な転送があるので系統図の作成が必要だと思います。

早川：そもそもＭＬはいらないものも多いのではないか？そのあたりも含めて整理できないか？（特に事務局）

岩田：一度整理を行って、岩田、山本で確認したがそれでも不明な送信が発生している。

山本：送信するとその宛先からさらに転送されるようなことが起こっている。このあたりも含めて整理を進めようと思います。

●「新スポ関係について」

岩田：当会では、「新スポは、よくわからない」という意見が多かったが、情報を発信するようになって理解が深まってきた。新スポのこのような活動は費用負担が少ない割には効果があると思います。

関根：関わっているものとして、（ウォーキングや月例マラソンとかの情報交換は合ってよいのではないか）こういう使い方をしたらいいのではないか？

早川：共有、発信、今後も新スポとの活動は継続ということでいいと思います。

●「配信先ML一覧の整理、周知について」

遠藤：ＭＬの一覧表についてですが、整理したのちにみんなに配信はできますでしょうか。ＭＬのアドレスリスト自体ではなく、「どういうときにどのＭＬに流すか」などの整理した表があると助かります。また、共有方法ですが、会員専用のログインして入るＨＰにその情報を入れて管理する方法はどうでしょうか。たとえば「年度ごとに共有ログインのパスワードを更新し、そこに整理した情報を保存するとよいのでは？」

入木田：良い提案だと思います。今後の参考にしましょう。

●「新スポの意味や活用」

佐藤：新スポについて、当会でも「新スポとは、その意味は？と話が出ることがある。しかし、私のほうでは、「県に対する提言など、組織的な発言は新スポが効果的な面がある。そのような観点でも意味はあります」と説明するようにしている。例えば、登山道整備や登山に係わることでの神奈川県連への提言なども、もっと各会員に意見を収集してよいのではないか。

早川：以前より伝えてはいる内容ではあると思います。あらためて周知しましょう。

佐藤：連盟のニュースにも掲載してもらえるといいと思います

６．２■質疑応答（教育部・救助隊関係）

・「講習会の無料での実施」

関根：「今期は、講習会を無料で行います」に対して意見はありますか？

→（早川）補足。当初予算では有料での収入を予算計上していますが、この提案でそれは見込めなくなります。

反対意見なし。

（まとめ）実技講習会参加費・・・教育部（読図実技）、救助隊講習会①机上講習会参加者は多く集まった。今後は救助隊含めて実技講習会に移行するが、できるだけ多くの参加を望む。募集人数の上限は定めるが、その意味でも試行的に講習会参加費を「無料」とする。②小川山交流集会教育部主催で開催する。教育部員、協議会会員の交通費、キャンプ場利用料等経費は教育部予算からの支出を認める。

・「講習会のスケジュール」

中村：教育部の実技ですが、スケジュールを早めに決めていただけると、会員の参加ももっとできるようになると思います。年間のスケジュールは早めに設定していただきたいと思います。

→（早川）そのように進めたいと思います。

講習会は４０名程度と伺いましたが、どうでしょうか

→（早川）机上は多いのですが、実技の参加者が少ないです。年度により参加者は変わるものなので何とも言えない部分もあります。

岩田：藤沢では「県連の講習会」は、当会としてはとても役に立っています。講習会は今後ともとても重要だと

感じています。無料にして多く集まるようになればその方が望ましいと思います。

・「ＣＰＲマネキン」

山本：ＣＰＲマネキンについて、会で借りることはできますか？

→（早川）できます。県連の装備品としての資産です。置き場は、救助隊の装備と同様に早川宅倉庫にあります。壊れやすいところもあるのでご注意ください。使用する際の受け渡し方法は、都度相談して下さい。

・「救急救命講習」

渡辺：相模アルパインクラブでは消防署による「救急救命講習」を毎年定期的に実施している。

・「雪崩講習・埋没訓練など」

岩田：雪崩講習のときの話ですが、人を雪に埋めて行うのでしょうか？

→早川　実際の人ではなく、標的を埋めて、掘り出しの訓練を行います

渡辺：昔は実際に人を埋めてやっていた。１ｍくらい埋まってやったことがあるが、(足で踏んで固めて、、、生きた心地がしない訓練でした)。それは、危険なので今はやらないようにしている。

・「救助隊の講習会スケジュール」

早川：救助隊の補足説明。年間計画を立てて、すでにこれでいっぱい。ですが、意見があればいただきたいと思います。

関根：渡渉講習会は、今年はないのでしょうか？

早川：昨年は行いましたが、沢の事故もあったため、今年は「沢でのセルフレスキュー」を選択しています。

山本：岩場でダブルロープを用いて、ロープが伸びきった状態の、上の方でリードクライマーが救助必要となった場合に、どのように対処するかなどについて」など、今後検討していただきたいと思います。

早川：過去にはやっています。今後、要望あれば対応したい。

早川：クライミングの基礎なども大切。また、講習会の開催については、救助隊の人的な問題にたどり着く。各、専門部の絶対的な人員不足は大きな課題だと考えています。

・「各専門部の人員不足について問題提起」

岩田：藤沢は９０人いるので４人理事の枠がある。まだ個人的な意見ですが、教育部への追加メンバーとして、「ハイキング系の方」を推薦しようと思っています。

６．３■質疑応答（自然保護委員会関係）

●「クリーンハイクの継続を希望」

佐藤：「自然保護」は、山で活動するすべての方にかかわることと考えています。そういう意味で、例えばクリーンハイクなど　是非とも今後も継続してほしいと思います。

●「沢の水質検査について」

鍋野：当会では、一部のメンバーに「沢の水質検査」がなくなって残念がっていたものもいます。沢の水質検査について、対応したいと考えているメンバーはいます。

渡辺：クリーンハイクくらいしかすべての会の参加できる場がない。今後も継続してほしいと思います。

関根：自然保護委員会の課題ですが、「知らなかった」、「伝わっていなかった」ということが多いかと思います。反省して周知をし､各会からの委員の参加を募りたいと思います(もっと多くの各会からの参加を呼びかけたい)。

●その他

中村：石巻のボランティア活動・・・委員のメンバーのみでの活動になってしまっていた。一般の会員の参加募り、拡大したい。

渡辺：労山基金の勉強会を行うこととなった。先日、全国連盟にも伺い労山基金の優位性を整理した表を受け取ったので共有したい。労山基金は、特に「死亡保障（見舞金)」があり、ケガの入院や通院の補償も手厚いものとなっています。またさらに「海外登山」にも対応しており、困ったときに他と比べてもとても有効です。是非、各会員にも理解してもらえればと思います。

山本：ココヘリの個人賠償責任制度のことについて確認下さい。例えば、具体的なところでパーティー内で起こした場合の「賠償」などについては、本当に補償されるのか？　基金の記載を読んで多少疑問を感じています。

早川：確かに気になることですね、この件については、ココヘリに確認をします。

７．討議事項

●「基金のあり方について」

鍋野：前回の常任理事会で少しお話しました件です。基金は申請・登録した会に計画書を提出していなければその基金の申請ができないことは理解しています。しかし、複数の会に所属する会員が困らないように、たとえば、「その複数の会同士で、事前に、『お互いの会の計画書はお互いの会で承認したものとする」というような覚書を交わしていれば、対処できるのではないか」と考えました。全く個人的な案ですがどうでしょうか。また、もしできることなら、「基金を申請している会に、計画書を提出していなければ基金は使用できない」「計画と異なる山行に対しての許容」などの基金のあり方の見直しを考えることも１つの方法ではないでしょうか。

→　基金のマニュアルがあるのでそちらを良く理解すると良いです。

→　基金に対しては基本的には全国へ質問をするのが良いでしょう。

→　質疑事項をまとめて頂き、早川から質疑を出します。

●「世代交代について」

中村：世代交代について、具体的にどう行うのかはなかなかむずかしいと考えています。皆さんはどのように考えているでしょうか？

早川：各会の理事は、数年の期間を経て交代となります。まずはこの機会を活用して、新しい方を迎えて交代していくことができるかと思います。例えば、事務局はやっと体制が整うことが見えてきたのではないかと感じます。世代交代について、まずは理事の交代が一つの方法になるのではないか。

８．会計報告、その質疑応答

丸山：資料により報告・細部説明。計画に対して少し膨らんだりなど変動はありますが、概ね計画に則って予算支出が進んでいます。　※資料P13～参照

岩田：参考のはなしだが、他の県の連盟で、予算が余ったため、会費を返還したという事例がある。徴収した会費は、しっかりと目的に沿って実施し余らないようにすることが望ましいと思います。

早川：過去にコロナにより活動が制限され、予算があまったため返却を行ったことがある。今年度はそうならないと思います。また、今後とも、必要な活動に対してしっかりと実行していきたいと思います。

９．新理事の承認

岩田：新理事の紹介

・M&C　村石節子さん／・カモ　荒井辰夫さん／・銀嶺会　笹川淳子さん・・・３名とも全員一致　承認

（その他）岩田：川崎労山の理事出席関係について委任状などが届いていないので以後要確認。

１０．採決、まとめ、議長団解散、会長挨拶

資格審査　佐藤修　出席　会場１１名　ズーム５名　計１６名　成立している。

・採決　全項目・・・　反対なし　保留なし　賛成全員

・まとめ

早川：これにて、今年の後半をしっかりと進めさせて頂きたいと思います。また、運営はその都度、臨機応変に柔軟にすすめていければと考えています。今後とも皆さんに積極的に参加していただいて、神奈川県勤労者山岳連盟を皆さんが有効に活用していただくことが切なる希望と考えています。そのためにも、皆様から納入頂いた連盟費を有効に活用できるよう、組織の運営を皆様方ご自身で考え、ご意見を出して下さい。本日は本当にありがとうございました。

渡辺会長：一日お疲れ様です。今日は色々な話ができたと思います。また特にですが、新しい会員の方になるべくいろんな機会を通じて、県連の活動をお伝えしていきたいと思います。

１１．定期理事会閉会宣言

岩田：今回は非常にバタバタでしたが、皆さまのご協力でここまで来れて良かったです。皆さまお疲れさまでした。ありがとうございました。　（以上）

事務局長会議議事録（Ｚｏｏｍ）

日時：９月１２日２０時～２１時

参加者　各界の報告参照

司　会　岩田（事務局）　記録　岩田（事務局）

１．理事長から伝えたい内容（早川）５分

○　第３８期下期（前半期）理事会について

●講習会無料化　定員設定する場合あり

●読図実技講習会　１０／２９（日）場所未定　定員２０名

●教育部主催　９／２３・２４交流会　小川山

●教育部主催　１１／２５　ファーストエイド　早川講師　県連事務所　定員２０名

●救助隊主催　１１／２６クライミング系セルフレスキュー講習会　鷹取山（追浜駅）定員２０名

●救助隊主催　３／１６　雪崩捜索救助搬出訓練

3/17 雪山登山訓練　一般会員公募

２．事務局部　１０分

＊岩田から

○２０２４年３月１０日第３９期定期総会が予定されています。次回１１月１４日事務局長会議でスケジュール他要項をお伝えします。

＊連盟ニュース（佐藤）　表紙と寄稿文

岩田から　○連盟ニュースの表紙担当された会は、寄稿文も必ず投稿お願いします。

担当会表

~~4月~~	~~川崎労山~~	~~5月~~	~~川崎HC~~	~~6月~~	~~柴笛クラブ~~
~~7月~~	~~AC横浜~~	~~8月~~	~~藤沢山の会~~	~~9月~~	~~小田原ナーゲル~~
10月	相模AC	11月	みずなら山の会	12月	カモの会
2024年1月	雪童山の会	2月	地平線の会	3月	やま＋＋
4月	メーグリ家	5月	M&C	6月	Grazie
7月	SAWA MAFIA	8月		9月	

メール関係（山本・入木田）　なし

事故一報（山本）　なし

＊ヒヤリハット（山本）　なし

会計（丸山）　なし

その他　なし

３．専門部　２０分

＊自然保護委員会（関根）

○クリーンハイクの報告を送る

○植樹活動　ヤビツ峠から菩提にかけて。１０／２８（土）１０：３０～

○石巻ボランティア　いまだ復興ならず、植樹活動に参加　東京都連とともに　現地視察１１／１１－１３

○１２月丹沢の小屋に泊まろう。１６－１７丹沢ホーム　自然観察などを聞く

○1/２０里山自然観察ハイク　武蔵五日市　帰りに温泉　詳細後日

○関東ブロック自然保護集会　１１／１８－１９横浜自然観察の森上郷森の家　１００００円　当日参加５００円　受付１３時から　各県の活動報告　１９日鎌倉方面へハイキング

　横浜の緑地をまもった活動の話

ＨＰ掲載について、各専門部の告知を載せるようにしている。

＊教育部（早川）○　理事長よりを参照

＊救助隊（早川）○　理事長よりを参照

＊新日本スポーツ連盟（植田　代理関根）

○労山の記事を、自然保護活動についてスポーツの広場に掲載している

４．各会の報告　２０分

表の順番で会員数、ヒヤリハット、トピックスなどを報告

会名	出席者	会員数	トピックス
1　川崎労山	遠藤	１６	見学希望者にお試し山行　秋の会山行
2　川崎ＨＣ	佐藤	９４	平均年齢68.5歳
3　芝笛	欠		
4　ＡＣ横浜	内藤	３４	２人増　交流会で岩講習
5　藤沢山の会	大野・舘	９２	夏山集中山行を立山室堂中心に久しぶりに実施。
6　小田原ナーゲル	欠		
7　相模AC	長倉	４５	見学者２名入会者１名
8　みずなら山の会	木津　中島	３１	７月終わりに事故　骨折事故
9　さがみ山友会	欠		
10　カモの会	佐藤	４６	ハイブリッドの例会に移行　９月オンライン
11　雪童山の会	欠		
12　地平線の会	欠		
13　やま＋＋	中村	１８	特になし
14　山ブキの会	欠		
15　メーグリ家	欠		
16　M&C	久保	２２	遭難救助訓練
17　銀嶺会	欠		
18　Grazie	欠		
19　SAWA MAFIA	欠		

５．その他／自由討論　５分

〇連盟ニュース９月号、まもなく配信します。

〇クリーンハイクの感想文集配信。

〇クリーンハイクを知らない人がいる。もっと参加の呼びかけをしてほしい。県連として大きな取り組みで参加しやすい。他の登山者から感謝される。よろしく。（以上）

常任理事会議事録（Ｚｏｏｍ）

日　時：９月３日（日）２０：００～２１：００

出席者：早川・渡辺・関根・岩田・鍋野・縄　入木田（事務局）

早川理事長より

〇南相馬市復興支援感謝の集い開催のお知らせを、常任理事に配信。まずは自然保護委員会所掌で案件処理する。都連の関係者と５日に会合するので、その時にこの件を相談する。

〇関東ブロック自然保護集会を、１１月１８・１９日に開催する。自然保護委員会より案内書を各会に配信する。早川は、別件対応（新スポと救助隊訓練）のため、不参加。挨拶文を事前に用意する。

〇定期理事会の議案者がまとまった。早川から各会へ配信する。

教育部より

〇９月２３・２４日で交流集会を開催した。今年は参加者１０名で、昨年より大幅に少なかった。夜、参加者全員で集まって、忌憚の無い話し合いができた。今後も継続していければ良い、と言った意見でまとまった。翌日、ハイキング班から要望あった。危険箇所の通過の実技講習会の要望があった。次年度から対応する。

〇気象の机上講習会を１１月７日に予定しているが、もう少し時間が欲しいとの、受講参加者からの要望があったため、今期あともう１回、１月頃に開催する。日程は野尻講師と調整中。今後は年４回開催していきたい。

救助隊より

○１０月１５日関東ブロック救助隊交流会開催、３名参加予定。

○１１月より講習会等実働開始。

自然保護委員会より

○クリーンハイク報告書の印刷が未了。１０月５日に印刷する予定。３０部は、自然保護集会で配布。紙で欲しい会、また、各会には１部配布。その他協賛団体（神奈川県自然環境保全センター、丹沢自然保護協会）に配布予定。

○丹沢自然保護協会主催、菩提植樹、１０月２８日開催。１５名参加予定。

○１１月１１～１３日石巻上品山植樹活動支援。１３日は南相馬市視察。

○１１月１８・１９日　関東ブロック自然保護集会開催。

○１２月１６・１７日丹沢の小屋泊り行事。丹沢ホーム宿泊。案内書は作成中。大山北尾根から札掛に行き、丹沢ホームに宿泊。１７日は長尾尾根を登り、新大日経由、政次郎尾根下山。登山道の補修を手伝った箇所を確認する。

○１月２０日　里山自然観察会予定。武蔵五日市周辺、ガイドを紹介してもらうよう折衝中。計画詳細は今後詰める。

事務局部より

○交流集会の報告を、連盟ニュースに掲載予定。文章量が多目なので、連載形式とする方向で検討中。

新スポ連より

○９月に理事会があったが今回は参加できなかった。

その他

○同人会新規設立「山学同人稜風会」新規参入ではなく、複数会の既存の会員で構成。横断的な繋がりで、会を越えた交流をする事を目的とする。

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告　2023年　9月

活動報告送り先：ホームページの連盟員のページから

沢：沢、講習会：講	人数	形態	H:ハイキング、A一般登山、S雪山	人数	形態	SKI山スキー、R岩、氷 ｱｲｽｸﾗｲﾐﾝｸﾞ	人数	形態
銀嶺会(https://ginreikai101.wixsite.com/ginrei)								
報告：計5名（男0　女5 ）　平均年齢								
8/26-27 瑞牆	1+1	R	9/5 宝塚新岩	1+1	R	9/16-18 二口渓谷（ドラツー）	1+他	R
8/27 川苔山	2+1	A	9/8 雪彦山	1+1	R	9/20 甲府幕岩	1+1	R
8/27 高台　明神谷	1+3	R	9/9 御在所　前尾根	1+1	R	9/22-24 甲斐駒ヶ岳赤石沢奥壁Aフランケ赤蜘蛛	1+1	R
9/2-3 小室川谷～大黒茂谷	1+1	R	9/10 錫杖岳	1+1	A	9/23-24 小三本沢	1+2	R
9/2-3 大日岳	1	A	9/14-15 北岳バットレス第4尾根	1+1	R	9/23-24 穂高屏風岩雲稜	1+1	R
9/2　小川山	1+2	R	9/16-17 ミチノギ沢	1+3	R	9/23 瑞牆	1+2	R
9/3 甲府幕岩	1+2	R	9/16-17 前穂高岳第二尾根	1+2	R			
川崎勤労者山岳会　機関誌：「あざみ」　http://sangakukai.wix.com/kawasakirouzan								
報告：田中良子　計17名（男11女6）　平均年齢54.0歳								
8/31-9/2槍ヶ岳	2	A	9/10三つ峠	3	A	9/13-9/14八ヶ岳（小淵沢～親湯入口）	1	A
8/31-9/3北方稜線～剱岳～立山～五色ヶ原	1	A	9/9-9/11御前峰	3	A	9/16-9/17宝剣岳～駒ヶ岳	2	A
8/31湘南鷹取	2	R	9/9-9/11北岳	1	A	9/16-9/18三俣～湯股温泉	4	A
9/1-9/5小川山廻り目平	2	R	9/10湘南鷹取	2	R	9/17-9/18前穂高岳北尾根	2	R
9/3岩手県　兜明神岳　搬出訓練	6	A	9/10茨城・生瀬富士	2	H			

川崎ハイキングクラブ　機関紙「りんどう」			http://kawasaki-hc.life.coocan.jp/					
報告：守口尚美　計90名（男43　女47　）　平均年齢68.歳								
8/11-13　尾瀬ヶ原、尾瀬沼／尾瀬	3	A	8/26-27　八重山、能岳／上野原	6	A	9/3　御岳ロックガーデン、日出山／奥多摩	17	H
8/18-20　温泉ヶ岳／奥日光	8	A	8/26-29　薬師岳／北アルプス	4	A	9/3　三国山／静岡県	4	A
8/19　山伏山／静岡県	4	A	8/27　西沢渓谷／奥秩父	1	H	9/7　国立自然教育園／東京都港区	13	H
8/19-20　湯ノ丸山、池ノ平湿原／長野県	16	A	8/29-30　富士山／静岡県	4	A	9/7　光岳、易老岳、茶臼岳／南ア	3	A
8/23　室内例会	28		9/1-4　鹿島槍ヶ岳／北アルプス	2	A	9/9-10　国師ヶ岳、金峰山、小川山／奥秩父	3	A
8/25-27　荒沢岳／新潟県	5	A	9/2-3　至仏山／尾瀬	5	A			
小田原ナーゲル山の会　機関誌：　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ https://www.nagel.jp								
報告者：西村　悟志　計19名（男12　女7）　平均年齢　60歳　（5月現在）								
8/24北ア　五色ヶ原	1	A	9/9奥多摩　高尾山	1+1	A	9/17東北　三ツ石山	1+1	A
8/26丹沢　塔ノ岳	1+1	A	9/10丹沢　檜洞丸	1	A	9/18東北　姫神山	2	A
8/27丹沢　鬼石沢	1	A	9/13丹沢　三ノ塔	1	A	9/18東北　早池峰山	1+1	A
8/29丹沢　塔ノ岳	1	A	9/16東北　焼石岳	2	A	9/18富士　竜ヶ岳	2	A
8/31丹沢　三国山	1	A	9/16南ア　塩見岳	1	A	9/24奥秩父　西沢渓谷	1+4	A
9/3日光　白根山	1+2	A	9/16東北　岩手山	1+1	A	9/24三ツ峠山	3	A
9/6北ア　剣岳	1+3	A	9/17東北　和賀岳	2	A	9/26丹沢　塔ノ岳	2	A
藤沢山の会　機関誌：「稜線」　http://fujisawa-yamanokai.com								
報告：大野淳子　計92名（男：38、女：54）　平均年齢64歳								
9/1檜洞丸　犬越路周回	2	H	9/17浅間嶺	2	H	9/3~10/15四国	1	A
9/2栗駒山	2	H	9/18三ツ峠　屏風岩	2	R	9/9~10瑞牆山～金峰山	4	A
9/2鐘ガ岳	1	H	9/18両神山 日向大谷	5	A	9/9~11北岳・小太郎山	4	H
9/2大蔵高丸～ハマイバ丸	9	H	9/18沼津アルプス	2	H	9/10~11双六岳　樅沢岳 弓折岳	3	A
9/2高尾山	2	H	9/18石老山	2	H	9/15~16霞沢岳	2	A
9/2鬼石澤沢登	2	R	9/22伊豆山稜線歩道　二本杉峠～仁科峠	7	H	9/17~18錦秋には早かった下ノ廊下	1	A
9/3観音沢～八島湿原	12	H	9/24金峰山	9	H	9/17~18槍沢～天狗池	1	H
9/3稲子岳南壁　左ダイレクト	2	R	9/24日和田山　物見山	3	H	9/21~22廻り目平/天狗山男山ハイクと瑞牆山クライミング	6	R
9/5高尾山	4	H	9/24日金山石仏の道	2	H	9/23~24甲斐駒ヶ岳　黒戸尾根	3	A
9/7鬼石沢左岸尾根	4	H	9/24大山・女坂イタツミ尾根	1	H	9/23~24小川山（県連交流会・山行）	5	A
9/9広沢寺弁天岩	3	R	9/27広沢寺弁天岩マルチ	3	R	9/23~24北横岳、高見石	5	H
9/9宝登山	2	H	9/29塔ノ岳・大倉尾根	1	A	9/23~24小川山（県連交流会・ｸﾗｲﾐﾝｸﾞ）	6	R
9/15甲斐駒ヶ岳	3	H	9/3~6伊藤新道　三俣山荘　鏡池新穂高温泉	4	R	9/24~26白山	3	A
9/16檜洞丸	2	H	9/3~9白馬から立山縦走	4	A	927~29仙丈ケ岳と甲斐駒ヶ岳・栗沢山	5	A
						9/30~10/1越後駒ヶ岳＆平が岳	5	A
やま++　http://yamaplapla.sakura.ne.jp								
報告：計18 名（男10女8 ）　平均年齢60.6歳(23/9/30現在)								
９／２奥多摩　三頭山	1	H	９／２－３奥秩父　笛吹川東沢釜ノ沢右股	５	沢	９／６－９北ア　裏銀	4	A
９／１０－１１中央ア　木曽駒、宝剣岳	4/2	H	９／１７－１８八ヶ岳　赤岳	２	A	９／１０－１１中央ア　木曽駒、宝剣岳	4/2	H
９／２４　越後　鉾ヶ岳	２／１	A	９／２３－２４廻り目平、小川山	２／３	A	９／２４－２６　北ア　霞沢岳	２	A
９／２５　丹沢　檜洞丸	１	H						

相模アルパインクラブ　https://sagami-ac.sakura.ne.jp/								
報告：山行管理部　計43名（男27名 女16名）平均年齢 52歳								
9/2 丹沢大山	1	A	9/12～13 小川山	3	R	9/19～20 小川山	3+1	R
9/2 三ツ峠	3	R	9/15 瑞牆山	3	R	9/23～24 八ヶ岳権現岳	1+4	A
9/2 大菩薩連嶺 笹子川流域 大鹿川 柏木沢	1	沢	9/16～17　瑞牆山	2	R	9/23～24 北穂高岳 東稜	1+4	R
9/1～3 北アルプス錫杖岳	3	R	9/16 鷲頭山 ペンシルウォール・パステル	1+1	R	9/23～24 小川山	2	R
9/2～3 瑞牆山	2	R	9/16～18 剱岳南壁A2、龍王岳東尾根	3	R	9/24 尾瀬 笠科川タル沢ワル沢 井戸沢下降	1+1	沢
9/2～3 奥秩父 ヌク沢左俣右沢・西のナメ沢・ナメラ沢	9	沢	9/16～18 甲府幕岩・瑞牆山・小川山	2	R	9/24 三ツ峠	2	R
9/9 那珂川水系 苦土川井戸沢	5	沢	9/18 丹沢山	1+1	A	9/23～24 御在所岳	1	R
9/9～10 小川山	4	R	9/16～18 光岳・上河内岳	1+1	A	9/25～26 瑞牆山	3+1	R
9/9～10 笛吹川 釜ノ沢東俣	2	沢	9/15～18 北穂高岳 東稜・ 滝谷 ドーム中央稜	2	R	9/28～29 瑞牆山	2	R
9/9～10　鳳凰三山	1	A	9/16～18 中央アルプス 正沢川玉ノ窪沢～牙岩	1+11	沢	9/30 奈良県 柏木 屏風嵓	1+1	R
9/9 奈良県 柏木 屏風嵓	1+1	R	9/18～19 戸隠連峰 高妻山	1+1	A	9/30 北八ヶ岳稲子岳	2	R
9/11～12 小川山	2+1	R	9/20 広沢寺	1+1	R			
会名　みずなら山の会　ホームページ　http://www.mizunarayama.com/								
報告者　木津博子　人数　31名（男 17名・女 14名）平均年齢　66歳								
9/2・3硫黄岳（八ケ岳）	3	A	9/10　赤岳	5	A	9/24　富士山	1	A
9/3　釜入沢	3	沢登	9/12　高尾山	2	H	9/25　富士山	2	A
9/3　赤岳	4	A	9/16　鍋割山	2	沢登	9/26 石垣山（小田原）	4	H
9/3　旭岳（北海道）	1	H	9/16～18三俣蓮華・双六他	2	A	9/27　御在所（鈴鹿山地）	2+1	A
9/5　高尾山	2	H	9/16　赤岳	1	A	9/29 大山（丹沢）	2	H
9/10 大山（丹沢）	2	H	9/19・20岩殿山・京ヶ倉山	1+2	A	9/30 御岳山(奥多摩)	1	H
9/9～12加賀白山大日ケ岳	1+3	A	9/24　大山（丹沢）	4	トレ			
M&C（マウンテニアリングアンドクライミング）　http://mandc.moo.jp/								
報告：　計25名（男18　女7 ）　平均年齢51.2歳								
9/2～9/4 恵那笠置	1+多数	R	9/10 坊抱岩	1	R	9/20 瑞牆ボルダー	1+2	R
9/2～9/3 栃ヶ森山塊	2+1	沢	9/10 瑞牆末端壁	1+1	R	9/22～9/23 室堂～内蔵助平～黒部ダム(マイナーピーク東面スラブ断念)	1	R
9/2 瑞牆山/地獄エリアほか	1+1	R	9/11 雲取山	1	H	9/23～9/24 小川山	2+5	R
9/2 小川山妹岩	2+2	R	9/26～11/12 カンチェンジュンガ～マカルー～エベレスト	1	H	9/23 瑞牆　金山沢ボルダー	1+1	R
9/2 小川山	2	R	9/13 奥秩父 鶏冠谷左俣	2	沢	9/25～9/27 荒川支流 女川(新潟・山形)	2	沢
9/3 甲府幕岩	1+1	R	9/13～9/14 小川山、瑞牆	1+1	R	9/23 鳳来（鬼岩）	1+2	R
9/3 瑞牆不動沢屏風岩	2+2	R	9/14 西沢（本棚・下棚）	1	沢	9/24 米子沢	1+1	沢
9/3 中央アルプス中御所谷・東横川	1	沢	9/15～9/16 湯桧曽川東黒沢→ナルミズ沢	2+1	沢	9/25 小川山妹岩	1+1	R
9/3 小川山	2+5	R	9/15～9/17 北アルプス	1	A	9/24 瑞牆山/地獄エリア周辺	1+1	R
9/4 甲府幕岩	2+4	R	9/15～9/17 破間川源流	2	沢	9/24 湯河原幕岩	2	R
9/7～9/7 御嶽	1	R	9/16～9/17 甲府幕岩	1+2	R	9/24 伊那・猿岩	1	R
9/7～9/7 御嶽	1	R	9/16～9/16 三島 クレヨンウォール	1+1	R	9/29～10/1 北岳バットレス	1	R
9/9～9/10 御在所岳藤内壁	1+5	R	9/17～9/18 瑞牆山/地獄エリアほか	1+1	R	9/30～10/1 奥穂高（コブ尾根）	1+1	R
9/9～9/10 小川山	1+3	講	9/17 小川山屋根岩2峰周辺	2+1	R	9/30～10/1 小川山	1+4	R

9/10 巻機山 米子沢	1+2	沢	9/18 丹波川本流	1+1	沢	9/30～10/1 小川山/スラブ状岩壁ほか	1+多数	講
9/9 鳳来	1+1	R	9/18 裏妙義・木戸壁右カンテ	1	R	9/30 鳳来（鬼岩）	1+2	R
9/9 榛名山(黒岩)	1+2	R	9/18 小川山屋根岩2峰周辺	2+1	R	9/30～10/1 瑞牆不動沢、小川七賢の岩場	2+1	R
9/9 小川山タヌキ岩	2+2	R	9/18 丹沢　塔ノ岳	1	H	9/30 佐久志賀	1+1	R
Grazie　http://ocha-time.xsrv.jp/								
報告：相川　時子　計15名（男10　女5　）　平均年齢44歳								
9/2-9/3　木の又小屋（塔ノ岳政次郎尾根）	3	A	9/2-9/3　火打山	1＋1	A	9/2　竜喰谷	1+2	R
9/9　小川山	2＋1	R	9/9　木の又小屋（塔ノ岳政次郎尾根）	1＋1	A	9/10　大同心、小同心	4	R
9/10　瑞牆山	2＋1	R	9/16-9/17　横尾本谷	5	A	9/16-9/18　錫杖岳	2+2	R
9/16-9/18　馬蹄形	1+1	A	9/23　日向山	1＋3	A	9/23-9/24　木の又小屋（塔ノ岳政次郎尾根）	2	A
9/24　三つ峠	1＋1	R	9/30-10/1　小川山	1＋2	R	9/30-10/1　青年小屋	1＋3	A
SAWA MAFIA								
報告：宮﨑玲充　計10名（男9　女1）								
2023/9/2-2023-9/3 岩屋俣谷別山谷左又	1	沢	2023/9/9-2023-9/10 手取川 大杉谷川	1	沢	2023/9/18-2023-9/18 小川山雷岩	1+2	R
2023/9/6-2023-9/8 中国山地･三原山（マッコウ）	1+1	H	2023/9/9-2023-9/9 小川山マラ岩	1+1	R	2023/9/23-2023-9/24 朝日連峰 大朝日岳	1+13	H
2023/9/7-2023-9/7 瑞牆黄金狂	1+4	R	2023/9/15-2023-9/18 飛越トンネル～野口五郎岳～雲の平～高天が原　遊周	1+1	沢A	2023/9/23-2023-9/24 八幡平　葛根田沢（明通沢下降）	1+3	沢
2023/9/8-2023-9/8 中国山地･マッコウ山	1+9	沢	2023/9/15-2023-9/17 利根川本谷	1+3	沢	2023/9/24-2023-9/25 遠山川 加加森沢溯行 加加良沢下降	1	沢
2023/9/9-2023-9/10 巻機山	1	沢	2023/9/16-2023-9/18 奥只見　恋ノ岐川	1+1	沢	2023/9/30-2023-9/30 大洲谷	1	沢
2023/9/9-2023-9/10 岩井谷	1+3	沢	2023/9/18-2023-9/18 瑞牆山大ヤスリ岩	1+1	R	2023/9/30-2023-10/1 廻り目平	1+1	R
アルパインクラブ横浜	http://acy.jpn.org/							
報告：神谷　敬	計34名（女13名,男21名）　平均年齢：45歳							
9/2 西丹沢　西沢　本棚沢	2	沢	9/16 瑞牆山	2	R	9/24 榛名黒岩	13	R
9/2 多摩川　シダクラ沢	3	沢	9/16-17 裏越後三山周回	1	A	9/24 小川山	4	R
9/2-3 北岳バットレス・第4尾根	2	R	9/16-18北穂東稜、奥穂高岳	4	R	9/27 高尾山	2	A
9/2-3 足尾　ツバメ沢～ケヤキ沢	4	沢	9/16-18 北穂東稜	9	R	9/28 広沢寺	2	R
9/3 西丹沢　マスキ嵐沢	3	沢	9/16-18剱源次郎側壁名大R	2	R	9/28-29 御嶽山	2	A
9/3 空木岳	1	A	9/16-18 高天原・水晶岳	2	A	9/29-30 八甲田山	1	A
9/4-5 奥穂高、西穂高岳	1	A	9/16-18北岳バットレス四尾根	5	R	9/29-30 小川山	1	R
9/8-11 槍ヶ岳（北鎌尾根）	3	R	9/17 西丹沢　鬼石沢	3	沢	9/29-10/1北アルプス伊藤新道	2	沢
9/9-11 奥穂高岳	3	A	9/17 西丹沢樅ノ木沢	4	沢	9/29-10/1大台ケ原～大杉谷	2	A
9/9-10 北岳	2	A	9/17 白峰三山	1	A	9/30 瑞牆山	2	R
9/10 鷹取山	2	R	9/18 倉岳山	2	A	9/30-10/1北八ヶ岳	4	A
9/10 石和温泉の兜岩	2	R	9/19 嘉宇津岳（沖縄）	2	A	9/30-10/1 小川山	4	R
9/10-12 剱岳源次郎尾根	2	R	9/20 秩父羊山公園-芦ヶ久保	1	A	9/30-10/1北穂東稜、前穂北尾根	2	R
9/14 鷹取山	2	R	9/20-22 槍ヶ岳	2	A			
9/14 小川山ボルダー	3	R	9/23 奥多摩（三頭山～御岳）	1	A			

国・県連スケジュール

日	曜	１０月	日	曜	１１月	日	曜	１２月
1	日	常任理事会	1	水		1	金	関東雪崩（机上）
2	月		2	木		2	土	
3	火		3	金		3	日	常任理事会
4	水		4	土		4	月	
5	木		5	日	常任理事会	5	火	
6	金		6	月		6	水	
7	土		7	火		7	木	
8	日		8	水		8	金	
9	月		9	木	救助隊運営会	9	土	
10	火		10	金		10	日	
11	水		11	土		11	月	
12	木	救助隊運営会	12	日		12	火	
13	金		13	月		13	水	
14	土		14	火	事務局長会議･事務局部会	14	木	救助隊運営会
15	日		15	水		15	金	
16	月		16	木	教育部会	16	土	
17	火		17	金		17	日	
18	水		18	土		18	月	
19	木	教育部会	19	日		19	火	
20	金		20	月		20	水	
21	土		21	火		21	木	教育部会
22	日		22	水		22	金	
23	月		23	木		23	土	
24	火		24	金		24	日	
25	水		25	土		25	月	自然保護委員会
26	木		26	日		26	火	
27	金		27	月	自然保護委員会	27	水	
28	土		28	火		28	木	
29	日		29	水		29	金	
30	月	自然保護委員会	30	木		30	土	
31	火					31	日	
9/30-10/1 若手ｸﾗｲﾐﾝｸﾞ講習会								